

まちづくりビジョン



熊本市西区

はじめに

熊本市は平成24年4月1日に全国で20番目となる政令指定都市に移行いたしました。

これに伴い5つの区が設置されたところであり、西区においても住民により身近な区役所できめ細やかな行政サービスを提供するとともに、区の特性を活かしたまちづくりを推進することで、住みやすく暮らしやすいまちとなるよう取り組んでいます。

この「まちづくりビジョン」は区の特性を活かしたまちづくりを進めるにあたっての指針となるもので、この度、区民の皆様方のご意見をもとに策定いたしました。

ご承知のとおり、西区には金峰山や有明海、白川などに代表される豊かな自然やその恵みによる農水産物、史跡や歴史ある神社仏閣、まつりや神楽など、有形、無形の優れた財産が数多くあります。また、これらを今日まで守り育て、引き継いでこられたコミュニティも健在です。

これら西区の魅力を形作る財産に磨きをかけて、それぞれが輝く西区にしたいとの思いを込め、めざす区の姿を「金峰望む 華のあるまち西区」とさせていたいただきました。

今後、西区が「華のあるまち」となるよう区民の皆様と私ども区の職員が力を合わせ、まちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

最後になりますが、本ビジョンの策定にあたって、策定懇話会をはじめ区民アンケートや地域説明会等で多くのご意見をいただいた皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

平成25年3月 西区長 永田 剛毅

目 次

1	まちづくりビジョンの策定趣旨	1
2	まちづくりビジョンの位置づけ及び目標年次	1
3	区の概要・特徴	2
4	現状と課題	5
5	まちづくりの基本理念	7
6	めざす区の姿	7
7	まちづくり（華づくり）の重点的取り組み	8
8	まちづくり（華づくり）への取り組み方針	9
9	エリア別のまちづくり	10

資 料 編

1	人口	16
2	面積及び土地利用	18
3	産業	18
4	伝統文化・自然	20
5	災害・防災関係	21
6	主要幹線道路の整備状況	21
7	観光客の推移	22
8	熊本駅、熊本港の乗降客数	22
9	区民アンケート結果	23
10	次世代との意見交換会での結果	26
11	西区まちづくりビジョンの策定経緯	29
12	用語解説	32

1 まちづくりビジョンの策定趣旨

熊本市は平成 24 年 4 月 1 日、全国で 20 番目、九州で 3 番目の政令指定都市として、新たな一歩を踏み出しました。

この西區まちづくりビジョンは、本市の政令指定都市移行を踏まえ、西區のめざす区の姿を描き、これを実現していくための基本方針を明らかにするものです。

この実現には、区民の皆さんと行政との協働によるまちづくりの推進が欠かせませんが、まちづくりビジョンはこのための指針ともなるものです。

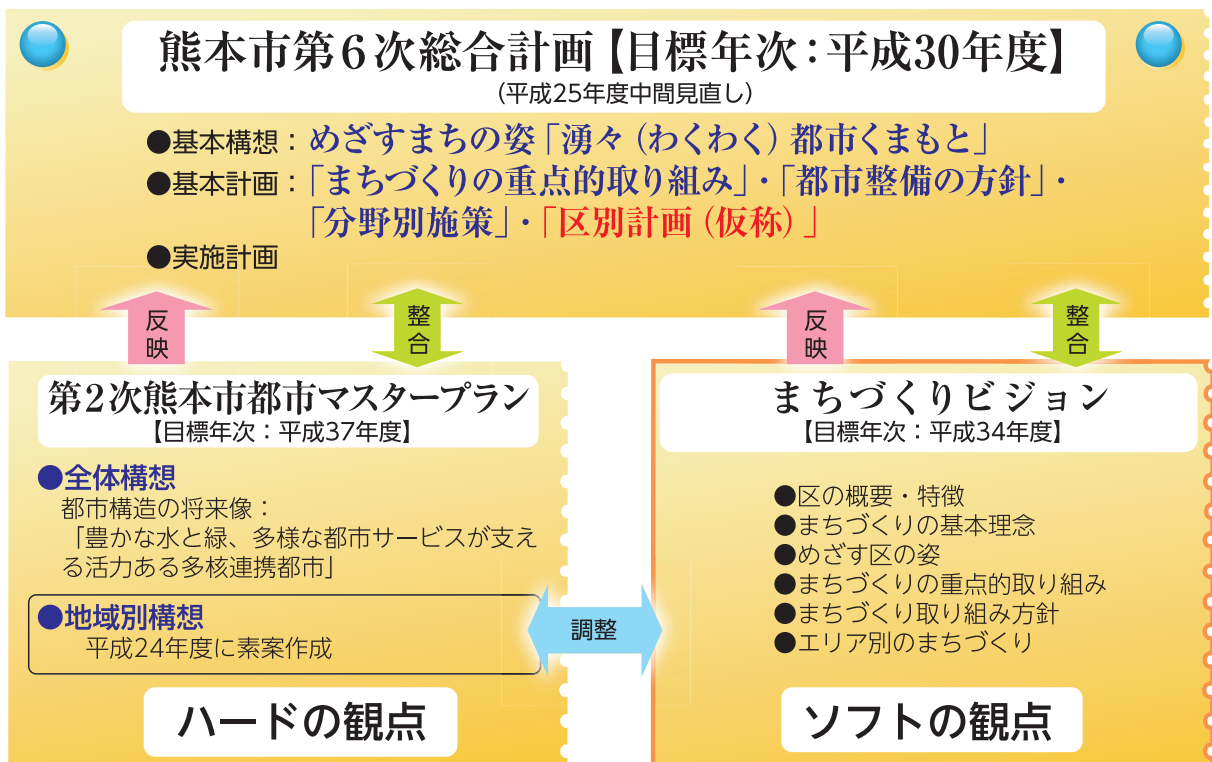
※「区民」とは、区内に住所を有する者、区内へ通勤・通学する者、事業を営み、または活動する個人及び法人その他の団体です。

2 まちづくりビジョンの位置づけ及び目標年次

このまちづくりビジョンは平成 25 年度に見直し予定の熊本市第 6 次総合計画に区別計画として反映され、10 年後の平成 34（2022）年度を目標年次としています。

※総合計画は、本市の市政運営の基本となるものです。第 6 次の計画期間は平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間で、中間年に当たる平成 25 年度に全体的に見直すこととなっています。

まちづくりビジョンの位置づけ



3 区の概要・特徴

(1) 校 区

本市の区割の基本単位は小学校の校区となっており、西区は16の小学校区で構成されています。西区を構成する校区は次のとおりです。

	校 区 名
1	古 町 校 区
2	春 日 校 区
3	城 西 校 区
4	花 園 校 区
5	池 田 校 区
6	白 坪 校 区
7	高 橋 校 区
8	池 上 校 区
9	城 山 校 区
10	松 尾 東 校 区
11	松 尾 西 校 区
12	松 尾 北 校 区
13	小 島 校 区
14	中 島 校 区
15	芳 野 校 区
16	河 内 校 区

※校区は学校番号順に記載



(2) 概 況

<地 勢>

西区の中央部から北部にかけて金峰山系の山地があり、南部に平野部が広がっています。平野部には阿蘇山を源とする白川や北区の改寄町付近を源とする坪井川・井芹川が貫流し、日本最大級の干潟を有する有明海に注いでいます。

また、面積は88.8平方キロメートルで、本市の22.8%を占めており、土地の利用としては、田畑や山林が約7割を占め、宅地は2割弱となっています。

<人 口>

西区の人口は、平成24年4月1日現在、93,170人で本市の12.8%を占め、人口は5区の中で最も少ない状況ですが、県内の他都市と比較すると第2位の八代市（13万2千人）と第3位の天草市（8万9千人）の中間に位置しています。近年、一部の校区での人口増加はあるものの、全体として人口の減少が続いています。

また、65歳以上の高齢者が占める割合は、本市の5区の中で最も高く25.3%となっています。

<交 通>

交通は、西区の東側を鹿児島本線及び九州新幹線が縦断し、新幹線駅として熊本駅、在来線駅として熊本駅、上熊本駅、崇城大学前駅が設置されています。

また、区の西端、有明海には熊本港が開港しています。

主要幹線道路は、国道501号、熊本西環状線（建設中）、熊本港線、熊本玉名線、熊本高森線、野口清水線（西回りバイパス）等が通っています。

<産 業>

産業構成は、農水産業等の第一次産業が9.1%、製造業等の第二次産業が15.3%、サービス業等の第三次産業が72.8% となっています。本市の第一次産業の構成比(3.4%)を大きく上回っており、農水産業は西区の重要な産業となっています。



花岡山から見た熊本駅周辺



西区名産のみかん



(3) 西区誕生までの変遷

- 熊本市は、明治22年4月（1889年）の市制施行以来、数次にわたる合併を経て、現在の姿となっています。
- 西区を構成する旧町村の熊本市との合併の経緯は次のとおりです。

大正10年6月（1921年）	池田村、花園村、島崎村、横手村、古町村、春日町
昭和6年6月（1931年）	白坪村
昭和28年7月（1953年）	高橋村、城山村、池上村
昭和30年4月（1955年）	松尾村
昭和32年1月（1957年）	小島町
昭和33年4月（1958年）	中島村
平成3年2月（1991年）	河内町

- 平成24年4月1日熊本市の政令指定都市移行に伴い区制が施行され、西区が発足しました。

(4) 区の特徴

- 恵まれた自然
- 盛んな農水産業
- 息づく歴史や伝統・文化
- 古くからの市街地の形成
- 玄関口である熊本駅・熊本港
- 市民の台所である田崎市場
- しっかりしたコミュニティ
- 少子高齢化・人口減少



白川の上空から金峰山を望んだ景色

西区は、金峰山や有明海など豊かな自然を有し、その恵みにより古くから農水産業が営まれてきました。また、今日まで先祖代々、祭りや神楽などの伝統・文化も受け継がれるなど、地元の結びつきも比較的に強い地域といえます。

上熊本周辺地区では古くから市街地が形成されており、熊本駅周辺では新幹線開業に伴う再開発等が進み、近代的な街並みが形成されつつあります。また、人や物の交流拠点である熊本駅や熊本港、市民の台所である田崎市場も有しています。

一方で、「少子高齢化」や「人口減少」といった課題も抱えています。

このように、西区は、海・山・川などの自然、農業・漁業などの産業、鉄道や港などの交通、新旧の市街地を有するとともに、今日の日本が抱える課題にも直面しており、まさに日本の縮図のようなところといえます。

4 現状と課題

(1) 安全安心なまちづくり <防災対策、交通安全・防犯、高齢者の見守り等>

西区は自然が豊かな反面、自然災害の危険も高く、大雨による河川の氾濫^{はんらん}やがけ崩れ、台風による高潮や地震による津波等の災害に備えて、更なる対策を講じておく必要があります。

このため、堤防や雨水排水施設などのハード面の整備とともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」という観点から、ソフト面の一層の充実が求められます。

また、西区は高齢化率も高く、日頃の高齢者の見守りなどの体制整備のみならず、災害時における要援護者への支援も不可欠です。

さらに、子どもたちの通学路や高齢者の生活道路等での交通事故防止や、防犯面からの安全性の確保も重要な課題となっています。

(2) 生活環境の一層の整備 <子育て・買物のしやすさ、生活道路等の整備>

まちづくりビジョン策定に伴い実施した区民アンケート結果によると、西区の住環境に対する住民の満足度は総じて高いものの、子どもを産み育てやすい環境の充実や日常生活における買物等の利便性の向上が求められています。このためには、買物弱者^{きようあひ}の対策や狭隘な生活道路の解消・子どもの遊び場等の整備も望まれます。

(3) 幹線道路・公共交通網の整備促進

西区は面積も広く、区役所までの距離が遠い地域があり、また、山間地域も多く交通不便地域もあります。区民の生活や相互の交流、観光振興の観点からも、都市計画道路等の幹線道路並びに公共交通網の整備が求められています。

(4) 自然環境の保全及び伝統文化の継承

西区には、環境省の「平成の名水百選」に選定された金峰山湧水群があり、熊本水遺産 83 登録のうち 28 登録が西区管内にあります。このように、多くの湧水や豊かな緑などの自然に恵まれるとともに、祭りや神楽など地域に根ざした多くの伝統・文化が息づいています。私たち西区民はこれらの貴重な財産を守り、育て、次世代に引き継ぐ使命があります。

(5) 産業振興と賑わいの創出 <農水産業振興、観光振興等>

西区は、米を始め野菜や果樹・花きなどの農業産出額（栽培面積割）は本市の3割、また、ノリやアサリなどの漁業生産額は7割を占めるなど農水産業が盛んな地域です。しかしながら、安定経営が難しく従事者の高齢化などから担い手は減少傾向にあり、後継者育成等の多くの課題があります。

また、多くの農水産物を取り扱う田崎市場は、市民の台所のみならず、熊本ブランドの発信拠点として今後の活用が必要です。

西区の主要観光施設を訪れる観光客については、本市を訪れる観光客の1%強と非常に少ないのが現状です。

(6) 熊本駅及び熊本港の利活用

西区は本市の陸の玄関 JR 熊本駅と海の玄関熊本港を擁しています。熊本駅は平成23年3月に九州新幹線が全線開業し、大幅に乗降客数が増加しています。さらなる賑わい創出の観点からも、熊本駅周辺への商業施設など集客施設の立地が求められています。

また、熊本港は重要港湾であるにもかかわらず、整備計画の進捗状況は当初の計画の半分程度にとどまっており、乗降客数及び入港船舶総屯数がともに伸び悩んでいます。このようなことから、臨港地区の開発を含め、一層の利活用が望まれています。



河内町野出地区から見た風景

5 まちづくりの基本理念

西区は金峰山や有明海に代表される豊かな自然を有しており、この恵みにより古くから農耕等が営まれてきました。このような営みの中で人々の叡智^{えいち}により、伝統・文化が育まれ、今日に継承されてきています。

私たち西区民はこれらの貴重な財産を活かしながら、心豊かにいつまでも健康で暮らせるまちとなるよう、まちづくりに取り組んでいきます。

6 めざす区の姿

海のめぐみ、山のめぐみ、大地のめぐみ、いにしえからの歴史、息づく伝統・文化などを活かし、区民誰もがいつまでも健康に暮らすことができ、西区全体にいろいろな華が咲き誇る明るい笑顔があふれるまち。こんな素敵なまちとなるよう、区民と行政が協働でまちづくり『華づくり』に取り組むため、めざす区の姿を次のとおりとします。

金峰望む 華のあるまち西区



※ 「華」には「よく繁栄するさま、盛んになるさま」という意味もあります。このようなことから、区民の皆さんをはじめ恵まれた自然や伝統・文化、農水産物などを西区の魅力を作る貴重な財産と捉え、この一つひとつの財産に「磨き」をかけることで、それぞれが輝く「華」にしたいという思いを込めています。

7 まちづくり（華づくり）の重点的取り組み

「華のあるまち西区」の実現に向け、目標年次の平成34年度までに、特に重点的に取り組む4つの華づくりを掲げます。

(1) 安全安心のまちづくり

— 災害に強く、誰もがいつまでも健康に —

- 西区は自然豊かな反面、災害による危険度も高いことから治水対策などに取り組むとともに、災害時に迅速な対応ができるよう関係機関との連絡調整を密にし、情報の共有化を図ります。
- 高齢者や障がいのある人など災害時要援護者を的確に把握し、災害時の安全確保の対応を図ります。
- 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増える中、見守りが必要な高齢者の支援を行います。
- 障がいの有無にかかわらず、誰もが健康で生きがいを持ちながら、安心して暮らせるよう、健康づくり・生きがいづくりなどに取り組みます。



(2) 子育てしやすいまちづくり

— 良好な環境を子どもたちのために —

- 西区は身近に自然が感じられる良好な住環境を有しています。これを活かしながら、子どもを産み育てやすい環境の整備を進めます。
- 母と子の健康づくりの推進や地域における子育て支援の充実に取り組みます。
- 子どもたちの通学路の安全性確保など安心して学び、遊べる環境をつくれます。
- 子どもたちの地域参加活動や地域ふれあい交流活動を推進します。



(3) 楽しさあふれるまちづくり

— 豊かな自然や伝統・文化を活かし賑わい創出 —

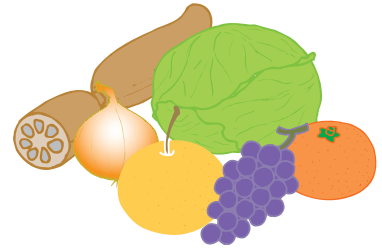
- 多くの市民や観光客に訪れてもらえるよう、金峰山系の豊かな自然や地域に根ざした伝統・文化を磨き上げ、魅力を高め、情報の発信に努めます。
- これらの資源を守り、育み、次世代に引き継ぎます。
- 自然環境を生かした農村景観や、都市空間デザインに配慮した都市景観の向上に努めます。
- 熊本駅や熊本港など交通拠点からの観光ルートを整備し、市民や観光客の利便性を高めます。
- 熊本駅周辺への商業・業務施設の誘導など都市機能の集積を図ることで、訪れる人の滞在時間を増やし、賑わいを創出します。



(4) 農水産業を生かしたまちづくり

— 魅力ある熊本ブランドの育成と発信 —

- 西區の多様な農業と水産業の担い手を育成します。
- 安全安心でおいしい地元農水産物に対する市民の認知度を向上させ、地産地消を推進するとともに、田崎市場の利活用を図ります。
- 全国はもとより東アジアに向けて、安全安心で質の高い熊本ブランドとして情報発信します。
- 地元農水産物等の地域資源を活かした農業体験などの活動を支援し、地域活性化を図ります。



8 まちづくり（華づくり）への取り組み方針

華のあるまちの実現に向けて、次の基本方針及び推進体制のもと、まちづくりに取り組んでいきます。

(1) 基本方針

■区民と行政の協働によるまちづくり

まちづくりビジョンの実現に向けて、区民と行政が対等な立場に立ち、役割と責任を担いながら、協働してまちづくりに取り組みます。

■まちづくりに関わる人材の育成と活用

まちづくりを担うのは人です。まちづくり人材の育成を図るため、地域へのアドバイザー派遣や研修会の実施などの支援を行います。

また、若者をはじめ幅広い年代及び女性の参画を促すとともに、高齢者の経験と知恵をまちづくりに活かします。

■地域が有するまちづくり資源の再発見と活用

地域のまちづくり資源を掘り起こし、まちづくりに活用します。

また、地域の資源マップ等を作成し、西區の良さを再発見してもらい、まちづくりに参画してもらえるよう区民の皆さんにも周知します。

■多様な単位でのまちづくりの展開

「町内」、「校区」、「エリア」、「エリア連携」、「区全体」、「区連携」など、事業効果を考慮しながら、多様な単位で事業を展開します。

(2) 推進体制

■市民協働の推進体制

まちづくりの取り組みについて区民の皆さんとの合意形成を図る場として、区民が参加できる「西区まちづくり懇話会」を設けます。

さらに、地域などで行われているまちづくりの事例等についての情報交換の機会を設けます。

■区役所の推進体制

西区役所の全課長等で構成される「西区まちづくり推進会議」において、ビジョンの実現に向けてのまちづくり事業の検討や推進、他局や関係機関との連絡調整等を行います。

■まちづくりの推進のための予算

ソフト事業については区独自のまちづくり予算を活用するとともに、ハード事業については本庁関係各局との連携を図ります。

9 エリア別のまちづくり

(1) エリア区分

西区は、区域も広く山や平野部などその地理的特徴や都市構造の違いから大きく5つのエリアに分けられます。この5つのエリア毎に課題を整理し、地域の実情に合ったまちづくりに取り組みます。

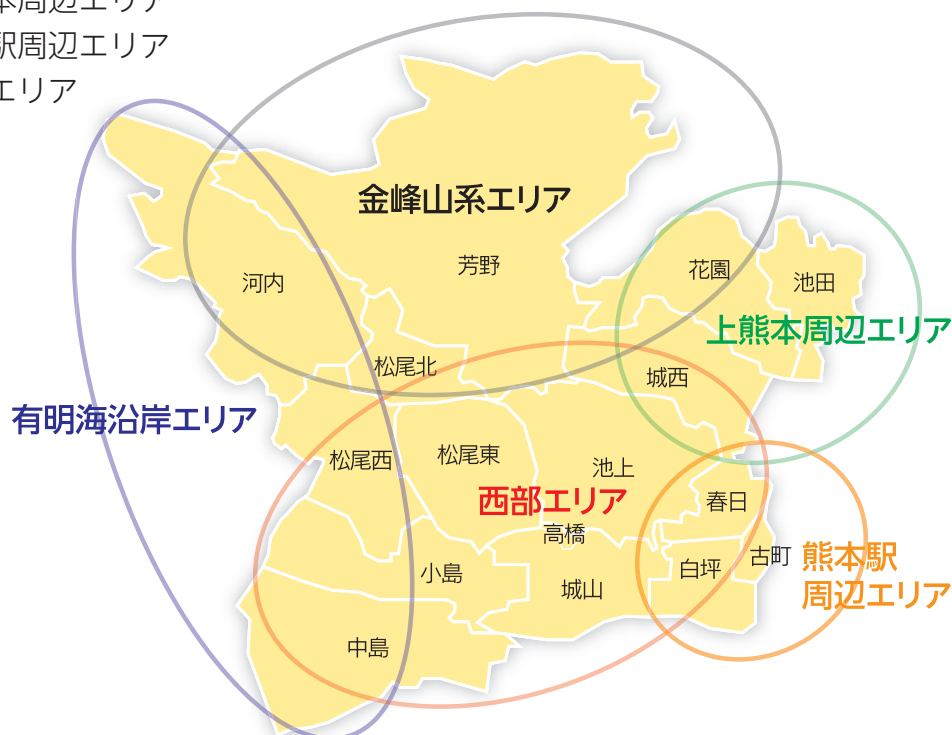
■金峰山系エリア

■有明海沿岸エリア

■上熊本周辺エリア

■熊本駅周辺エリア

■西部エリア



(2) エリア別課題

■金峰山系エリア

自然環境保全、伝統・文化の継承、農業振興、観光振興、交通不便地区解消、過疎化対策等

■有明海沿岸エリア

水産業振興、農業振興、伝統・文化の継承、熊本港の活用等

■上熊本周辺エリア

鉄道高架による東西市街地の一体化、伝統・文化の継承、住環境整備等

■熊本駅周辺エリア

陸の玄関口としての都市機能の集積、田崎市場の活用、賑わいの創出、伝統・文化の継承等

■西部エリア

農業振興、伝統・文化の継承、交通不便地区解消、住環境整備等

(3) エリア別のまちづくり

■金峰山系エリア

- ・金峰山湧水群などの豊かな自然や霊巖洞や拝ヶ石などの史跡が活かされ、多くの市民や観光客が訪れるわくわくするまちづくり
- ・河内みかんや芳野梨等の果樹が安全安心で高品質の熊本ブランドとして、全国有数の地位が確立された、美味しい果物を誇れるまちづくり



霊 巖 洞



みかんの花



熊本水遺産 たたらみず
「鑑水」

■有明海沿岸エリア

- ノリやアサリなど海の幸に恵まれた漁業の盛んなまちづくり
- 地域のまつりや伝統・文化を守り、次世代に引き継ぐまちづくり
- 熊本港の利活用により、海の玄関口としての機能が十二分に発揮された活気あるまちづくり



熊本港



アサリ



ノリ（海苔）

■上熊本周辺エリア

- 都心に近く、水や緑に恵まれた良好な住環境を有する子育てしやすいまちづくり
- 石神山などの豊かな自然や本妙寺や三賢堂などに代表される歴史や文化が活かされ、多くの市民や観光客が訪れる魅力あふれるまちづくり



本妙寺の加藤清正像



釣耕園



上空から見た上熊本駅周辺

■熊本駅周辺エリア

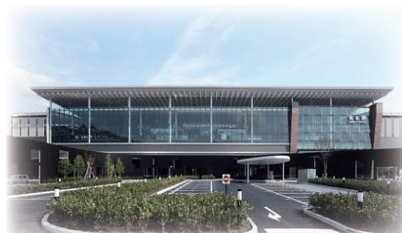
- 森都心プラザや合同庁舎をはじめ、商業・業務施設などの都市機能が集積する、人々の出会いとふれあいのある活気あふれるまちづくり
- 市民や観光客が安全で新鮮な農水産物を気軽に買える楽しいまちづくり
- 花岡山や万日山、石塘堰^{いしどもせき}などの自然や史跡が活かされた歴史を身近に感じるまちづくり



くまもと森都心プラザ



上空から見た熊本駅周辺



熊本駅（新幹線口）

■西部エリア

- 子育てしやすく、買物も便利な住環境に恵まれた住みやすいまちづくり
- たまねぎやレンコン、トマトなどの農産物が安全安心でおいしい近郊農業の盛んなまちづくり
- 国指定史跡として整備が進む池辺寺跡や千金甲古墳、高橋稻荷神社など地域資源が活かされた歴史や文化を感じるまちづくり



上 池辺寺跡の公園計画

中 上空から見た西部エリア

下 西区特産のレンコン